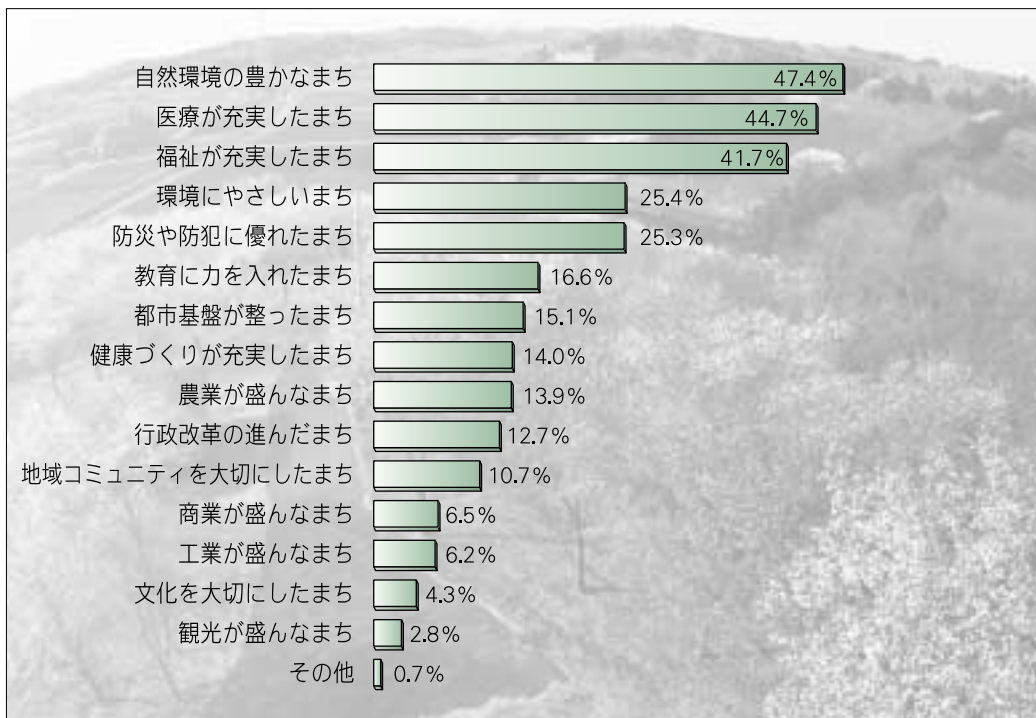


■まちづくりで重視すべき視点
 これからのまちづくりで重視すべき視点（3つまで選択）を尋ねたところ、「安全性を重視すべき」が60.4%と最も高く安心で安全なまちづくりへの関心の高さがうかがえます。次いで「快適性を重視すべき」が40.8%、「利便性を重視すべき」が39.8%という結果となりました。



■町の望ましい姿
 これからの芳賀町に対して望ましい姿（3つまで選択）を尋ねたところ、「自然環境の豊かなまち」が47.4%と最も高く、次いで「医療が充実したまち」41.7%、「福祉が充実したまち」が41.7%という結果となりました。

■今後優先すべき施策
 満足度調査と同じ48項目について、これからのまちづくりではどの施策を優先していくべきかを尋ねました。「優先」と「やや優先」の合計から「あまり優先しない」と「優先しない」の合計を差し引いて、各項目の優先度を把握しました。
 最も優先度が高かった項目は「医療体制の充実」で、優先度が70ポイントも上回っています。続いて「障害者福祉の充実」、「高齢者福祉の充実」の順で優先度が高く、保健福祉医療分野が上位を占める結果となっています。また「防犯対策の充実」（5位）「交通安全対策の充実」（10位）など、安心安全なまちづくりに対する優先度が高いことがわかります。
 一方、優先度の低い項目を見ると、「国際交流の推進」が最も低く、唯一非優先が優先を8ポイント上回りました。このほか、「地域間交流の推進」、「文化活動の充実」など教育文化分野に優先度の低い項目が多いことがわかります。

優先施策上位10項目

